

スーパーグローバル大学創成支援事業 令和2年度中間評価結果

大 学 名	豊橋技術科学大学
整理番号	B06
構 想 名	『グローバル技術科学アーキテクト』養成キャンパスの創成

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) <p>本構想は、高等専門学校との連携を強く意識した、多様な文化・価値観を持つアジアを中心とした海外の学生と共生するキャンパスにおいて、世界に通用するグローバルコミュニケーション力を持った先導的技術者の育成を目指すものである。</p> <p>グローバル工学教育を推進するために平成29年4月より開始した「グローバル技術科学アーキテクト養成コース」は計画通りに進められているが、出願者・入学者数を増やす施策が求められる。キャンパスの学生宿舎エリアの中央に位置するシェアハウス型グローバル学生宿舎(TUT グローバルハウス)も同じ時期に入居が開始され、構想が順調に実現されている。</p> <p>全学的に前倒して進めている「バイリンガル講義」は、英語テキストを使用し、板書は日本語と英語を併用し、講義は学生の習熟度や理解度に応じて英語と日本語の割合を調整して行うという非常にユニークな取組であり、その教育的効果について多方面から検証を行い、今後の展開に反映して頂きたい。</p> <p>重層的なグローバル人材循環の推進は、マレーシア教育拠点を活用した学生のインターンシップ、留学生の受入れ、海外研修、研究者交流、海外交流協定大学との国際連携教育プログラムの推進、教職員・学生の人材交流及び中短期のグローバルSD研修等、構想通りに進展している。</p> <p>財政支援期間終了後を見据えた自走化に向けて、PPP方式によるシェアハウス型学生宿舎の運営は他大学からも参考となる取組である。財源確保については、引き続き検討を進めて頂きたい。</p>	